My Town Topics



笑言本木幼稚園「なかよし会」 実顔がいっぱい!未来の宝(三本木)

三本木幼稚園には、この春73人の園児が入園し、幼稚園での生活にも慣れ始めてきた4月18日「なかよし会」が行われました。年長さんの輪の中へ年少さんが迎えられ、みんなで楽しく歌をうたったあとは、年長さんがこの日のために作ったペンダントをプレゼントして、仲よく握手をしました。この行事で、年長さんは、お兄さん・お姉さんになったという自覚が芽生え、年少さんは、幼稚園でのルールを学びます。大きな声で挨拶している年長さんを見習って、年少さんたちも元気よくお返事できたようです。



東北一のにぎわい(鹿島台)

鹿島台の互市が4月10日から12日までの3日間開催され、会場となった昭和通りは大勢の人出でにぎわいました。 鹿島台の互市のにぎわいには、わらじ村長の鎌田三之助村長と深いかかわりがあります。

鎌田村長は、各集落に祀られていた神社を鹿島台神社に合祀した祭典を機会に、祭日に併せて互市を開くことにしました。娯楽の少なかった当時、近郷近在から人々が集まり、3日間の人出は多い年には10万人以上と言われています。わらじ村長は、むらおこしの先駆者でもあったのです。

4月15日、松山に春の訪れを告げる恒例行事、神輿渡御が行われました。地域の人たちから信仰を集める羽黒神社の春季例大祭の行事で、装束に身を包んだ地域の人たちに担がれたお神輿が、ゆっくりと松山千石地内を練り歩きました。最近は担ぎ手の減少から、あまり見ることのできなくなったお神輿。松山地域では、地域の人たちの協力により、大切に受け継がれています。

笙の音の流れる中、古い蔵が残る町並みと古くから続く 伝統行事が、美しく調和していました。



桜の名所加護坊山で4月15日「加護坊観桜会」が開催されました。今年は例年より早い桜の開花が予想されていましたが、4月に入ってからは肌寒い日が多く、開花の便りも少し足踏み。この日もあいにくの雨もようとなってしまいましたが、会場の加護坊四季彩館には、多くの人たちが訪れ、歌あり、踊りあり、笑いありの楽しいひと時を過ごしました。毎年、このイベントには欠かせないタレントの田村田吾作さんのステージに会場は盛り上がり、笑いの渦に包まれました。

ちょっぴり残念、雨の桜まつり(田尻)





大き題が絶えない古川八百屋市 大しく暖かな春の風物詩(古川)

400年の伝統行事「古川八百屋市」が古川前田町の熊野神社境内で4月7日より開催されています。

野菜や漬物、山菜などの食材や、草花や農作物の苗、植木などのほか、農具や雑貨、衣類まで、いろいろな出店が境内に所狭しと立ち並びます。6月までの3と7のつく日(30日・31日は除く)に午前6時の花火を合図に開催され、大勢の人でにぎわいます。春の心地よい陽気の中、歴史と人情味あふれる八百屋市へ、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



10域の平和はトライクで守る!(鳴子温泉)

4月14日、地域の犯罪を防ぐため、三輪自転車(トライク)に乗り防犯パトロールを行うパトライク隊の出動式が、鳴子公民館で行われました。東鳴子・中野の両地区が一緒になった地域自治組織「東鳴子地域づくり委員会」が中心となり、犯罪防止に目を光らせます。出動式では、パトライク隊のベストを着た隊員や小学生約80人が、東鳴子地区、中野地区をパレードしました。地域を守るため、そして、子どもからお年寄りまでみんなの平和を願い、今日もパトライク隊はゆく。

My Town Topics





待端山大橋開通 行ちにまった開通 (岩出山)

架け替え工事が進められていた岩出山大橋がこのほど完成し、4月12日開通式が行われました。

当日は、残雪の栗駒山もはっきり望めるほどの好天に恵まれ、集まった地域の人たちが全長 259.6mの新しい橋を渡り初めしました。

参加した人たちからは「城山公園が正面に見えてとてもいい景色」「まるで旅行気分」「新しい岩出山の顔ができた」などと、喜びの声が聞かれました。

これまでの橋は、昭和初期の不況を打開し、農村振興を 図るために奨励された失業対策の一環で、昭和7年に完成 したもので、75年もの長い間、歴史のまちの要路を担って きました。今年度中には撤去され、間もなくその役目を終 えます。

平成 12 年に着工し、7 年の長期におよぶ工事で、地域の人たちをはじめ多くの人が心待ちにしていた新しい橋の開通。道幅も広くなり、岩出山地域西側を通る環状道路の一部として、「有備館」や「城山公園」などの名勝へのアクセスが重視されています。

15 広報 **よ**よてき 2007-5 広報 **よ**よてき 2007-5